

イスラエルはパレスチナ、 レバノン侵略をやめろ！

イスラエルはガザから撤兵しろ

ガザを巡る「平和協議」では米国とイスラエルが勝手な主張を振りかざし、住民の平和と安定にはほど遠い状態です。トランプ政権はまずハマスが武装解除しろ、イスラエルのガザからの撤退はその後だと主張します。ネタニヤフはガザから撤退するつもりはないと公言しています。

米国とイスラエルのこの態度では戦争が終わる見込みは全くありません。この間にイスラエルはガザに対する空爆と攻撃を続け、停戦が始まってからも1000人以上が殺されました。要するに平和について話しているふりをして、ガザ住民を殺し続けているのです。私たちはイスラエルがガザに対する攻撃を止め、ガザから撤退することを要求します。それだけがガザでの戦争を終わらせ、平和を作り出せる道です。



ガザの避難民のテント
トへの大規模な攻撃
8月16日 @mhmd_s09より



ヨルダン川西岸ではイスラエル軍はパレスチナ人の家や畑を破壊し、土地を奪う

家の破壊、土地略奪をやめろ

ヨルダン川西岸でもイスラエルの虐殺と略奪は続いています。イスラエルは暴力的な入植者を扇動して、西岸にあるパレスチナ人の家や畑を破壊し、住民を追い出し、自分たちの入植地に併合しています。イスラエル兵は暴力的な入植者と一緒になって略奪を進めています。国家安全保障大臣ベン・グヴィルは「イスラエル軍は毎晩30人が40人を

殺すべきだ」と公言しています。イスラエルという異常な戦争国家、略奪国家を国際社会は絶対に許してはなりません。

レバノン攻撃をやめ、撤退せよ

イスラエルはレバノンへの侵略も止めていません。併合を狙って南部の村落を破壊し、人が住めないようにしています。更地にして、占領して、入植させてイスラエルのものにしようとしています。侵攻以来の死者は4300人を超えました。戦争国家イスラエルが中東での戦争と不安定の源です。国際的な世論で米国とイスラエルの侵略を止めさせましょう。イスラエルを孤立させるために日本でもイスラエルボイコット、政府は協力するな、ドローン買うな声を上げましょう。



南レバノンのマンスーリで貯水施設に対する激しい
空爆を行うイスラエル軍 8月16日 @TheCradleMedia

リブ・イン・ピース☆9+25

<https://www.liveinpeace925.com> Email: info@liveinpeace925.com 2026年8月20日



ベネズエラ地震の復興再建支援にカンパを！ 米国と欧州はベネズエラへの制裁を全面解除せよ

6月24日の午後6時頃(現地)、マグニチュード7.2と7.5の巨大地震が相次いでベネズエラを襲い、ベネズエラは深刻な大災害に見舞われました。震源は首都カラカスから西に200キロ離れていましたが、カラカスや近郊のラ・グアイアなどは震度7や6強の揺れに襲われ、多くの建物が倒壊してがれきの山になり、たくさんの住民が埋まり、あるいは家を失いました。8月17日政府発表で、死者は6338人、治療を受けた人8万6358人に上ります。

ベネズエラ政府は迅速に行動しました。ロドリゲス大統領代行は直ちに非常事態を宣言し、3万人の軍人、公務員・ボランティアら3万人と地域の人々が駆けつけ、力を合わせて人々の救助にあたり、水や食料を届けました。各国から2400人を超える救援部隊が駆けつけ、政府・地元の人々と共に救助に当たりました。2週間後にロドリゲス大統領代行は復興計画を公表し、初期費用2億ドルを計上すると発表しました。



困難な中にあるベネズエラの人々と連帯し、2つのことを訴えます

何よりも巨大な災害に見舞われ、多くの人々を失いながらも悲しみと苦しみの中から復興のために立ち向かうとしている政府と市民に敬意を表し、心から連帯したいと思います。私たちは今年1月3日の米国による侵略とマドゥーロ・フローレス大統領夫妻の拉致を糾弾し、ベネズエラとの連帯を呼び掛けてきました。これまでの連帯活動を踏まえて少しでも復興に役立つように下記のように復興・再建支援のカンパを募りたいと思います。カンパはベネズエラの復興のために使われるようにラテンアメリカ開発銀行CAF(本部カラカス)の「ベネズエラ復興・再建基金」に送金します。ぜひご協力をお願いします。

もう一つは、ベネズエラに対するすべての制裁を解除するよう声を上げることです。ベネズエラの地震の被害は甚大で、復興資金は最大1000億ドル必要と言われています。先日、米政府は3億ドルを拠出すると表明しました。しかし、それは米国が行ってきた犯罪をごまかすものでしかありません。チャベス政権以来、特にマドゥーロ政権下で、米は厳しい制裁で貿易さえできないようにし、経済を締め上げ、人々を苦しめてきました。制裁が耐震化などの余力を奪ってきたのです。復興を妨げる最大の要因も制裁です。米欧諸国はベネズエラの資産(総額130億ドル)を勝手に凍結しています。その中には英国銀行が返還しない31トンの金塊(20億ドル~40億ドル)が含まれます。復興のためにこれらの資産は直ちに返還されるべきです。さらに、米国はベネズエラに対する制裁のほとんどを現在も維持しています。米国政府が支配する原油の販売と代金受け取り、自分たちへのピンハネに関わる部分だけ、解除したに過ぎません。未だにベネズエラに対して外国から自由に送金することさえできません。私たちは米欧各国がベネズエラに対する全ての制裁を直ちに解除するよう要求します。

ベネズエラ復興支援カンパにご協力を！

復興支援カンパは、9月15日までに下記のリブインピースの振替口座に送付してください。(必ずベネズエラ復興支援カンパと書いてください) まとめて、ラテンアメリカ開発銀行CAFにあるベネズエラ復興・再建基金(右のQR)に送付します。

郵便振替:00910-5-107564 加入者名:リブインピース



